

～ YOU & YOU 事務局紹介 ～

はじめまして。このたびYOU&YOUの担当となりました坂元です。

山都町集落支援員の吉田さんや結婚相談員のみなさんと協力をしながら、参加者みなさまの出会いのきっかけづくりやサポートができればと思います。1組でも多くのカップル誕生につながるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



事務局吉田です。活動開始から15年という節目の年を迎えます。

平成から令和へと年号が変わり、何事においても新鮮な感覚になります。

出会いもそのひとつです。新しい出会いが、二人のハッピーライフの始まりとなるようお手伝いができればと思います。

なかなか出会う機会がない、いずれは結婚を考えるとという方、お気軽に事務局、またはお近くの結婚相談員までお声かけください。事務局一同お待ちしております。

偶然ではない運命の出会いを探しましょう♪

～ 結婚相談員紹介 ～

矢部地区相談員の木村です。

YOU&YOUのイベントも、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できていないのが現状です。しかしながら、個別の紹介は行っています。グループはちょっと・・・など思われる方も、この機会に参加・登録をお勧めします。

まだまだ、登録されていない方も沢山おられます。登録の仕方などの改善も行っていきたいと思います。周りの方のご意見等を、事務局または相談員にいただくと、より良い出会いの場になると思いますので宜しくお願いします。



木村 智文 相談員(御所)
TEL:76-0226

～ 7月交流会紹介 ～

「トロッコ列車と縁結び神社散策」

新緑と青空の中、思いっきり楽しみましょう！

ストレス発散と素敵な出会いが待っています♪ チキン南蛮、淡水魚水族館もあります！

期 日：7月26日

定 員：8名(定員になり次第締め切り)

詳細は事務局までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期となる可能性があります。



問合せ先 YOU&YOU事務局 (役場 山の都創造課) 坂元・吉田
【電話番号】0967-72-1158【専用電話】090-9565-9589
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp



わたしたちの人権

183

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権・「同和」教育町民意識
調査結果の概要(抜粋)①

「同和」問題を始め、あらゆる差別をなくすことを目的に、令和元年12月に人権・「同和」教育に関する町民意識調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

○調査の状況

今回の調査は、これまでの人権・「同和」教育における成果や課題を明らかにし、今後の教育・啓発事業推進のための基礎資料として活用するものです。

調査票は、18歳以上の町民の中から、無作為抽出(統計学による手法の一つ)により1,593人を調査対象として、郵送による配布・回収で実施しました。結果は513人の32.3%の回収率となりました。

○3つの人権に関する法律の認知

総合的に個人の人権は守られるこ

とが当然の権利と町民の方は認識されています。2016(平成28)年に「部落差別解消推進法」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」の人権に関する3法律が制定されました。

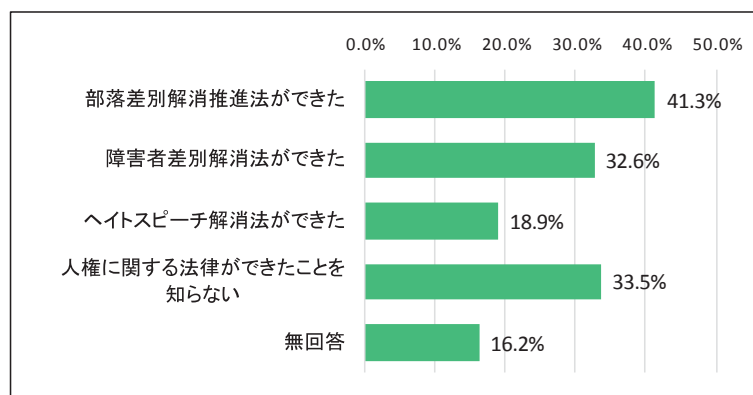
今回、施行3法について設問を行った結果、「部落差別解消推進法」については、4割程の認知の回答でした。「部落差別解消推進法」が施行された背景には

①インターネット上に匿名で他人を誹謗・中傷したり、地区の所在地であるとされる情報が発信されるなど、差別の拡大・悪質化が進んでいる。

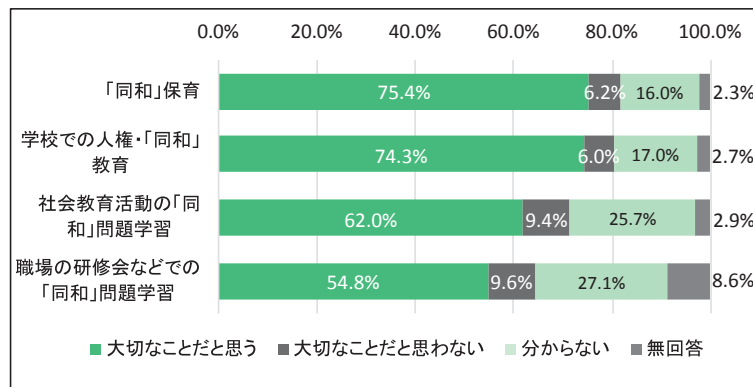
②「戸籍謄本等不正取得事件」等の差別事象の発生等。
③「同和对策事業特別措置法」等の失効後、部落差別の現実に対する軽視・認識不足が広がった
等が上げられます。この法律は、国

が法制定により事業に取り組みだし

3つの人権に関する法律の認知度



同和教育の必要度



た1960年代から半世紀が経過した時期に策定されており、部落差別は現存するとの認識で施行されたものです。

また、障がいと理由とする差別の解消を目指す「障害者差別解消法」や外国人への差別的言動の解消を目指す「ヘイトスピーチ解消法」の認知度は3割程度と低く、今後とも周知・啓発の取り組みが重要です。

○同和教育の必要性について

町内の保育所の「同和」保育や、学校での人権・「同和」教育、公民

館事業や社会教育活動関係団体活動・職場の研修会などで「同和」問題の学習について設問しました。結果、「同和」保育や学校での人権・「同和」教育については、75%の方が「大事なことだと思う」と回答しています。また、社会教育活動の場や職場の研修会でも6割程度の方が「大事なことだと思う」と回答しています。一人ひとりが「差別をなくす」意識を持てるよう、取り組むことが重要となります。